

うち福祉館だより

令和 7 年
9 月発行
電話・FAX
44-3410

第一回「やさしい人権講座」が開催されました。

知ることから始めよう 部落問題の見直し

今年度第一回目の「やさしい人権講座」が、八月二十五日(月)午後7時から開催され、大洲市在住で、歴史民俗研究者の五藤孝人さんにご講演いただき、五十四名が受講しました。

これまでに、数多くの史料、フィールドワークや調査を基に、部落史や地

域の歴史など幅広く研究を重ねてきた成果をふまえ、部落問題学習は負のイメージが強く暗い学習になりがちだが、正しい知識を正しく理解し、楽しく学習することが大切と話されました。



「共同幻想」と「同調圧力」

部落差別の要因のひとつに、日本人特有の「共同幻想」と「同調圧力」が大きく関わっていると考えられる。テレビドラマや根拠のない情報を鵜呑みにせず、自分で調べ、自分で考え、まず「知る」ことから始めようと強調されました。

みんなが差別者であるからこそ

そして、「ここにいる誰もが差別者。差別は決してなくならないし、誰もが差別意識を持っています。」



楽しく熱弁をふるう五藤孝人さん



しかし、正しい知識を身に着けることで、自他の目の前にある差別を止めることはできるはず。それを一人ひとりが実践できるようにしていきたいと思います。強く訴えられました。

参加者からは、「やさしい人権学習は初めて。今までは辛く悲しい話を聞くことが多かったと思う。これからは色々な方向から物事を見てみたいと思う。」「これまでの学びや経験が本当に正しいのか、根拠がどこにあるか、思い込みではないか、今一度考えてみたい。」「等の感想が寄せられました。」

四国地区人権教育研究大会

福祉館の取り組みを発表しました。

第七十二回四国地区人権教育研究大会が、七月一日から十一日に松山市で開催され、前野係長と石尾指導員が、当館の人権啓発の取り組みについて発表しました。発表では、パーサート(児童向けの紙人形劇)「わくわく出前講座フクプク」についての取り組みについて報告し、子育て世代を含めた幅広い世代が集う福祉センターへとアップグレードしたいとの思いを伝えました。

これからも人権尊重のメッセージを届けたいと思います。



発表をする前野係長と石尾指導員

『やさしい手話教室』

のご案内

初めて学ぶ初心者コースと、手話で会話ができる実用コースの2コース準備しました。お気軽にお申し込みください。

○開催期間 九月末～十二月

○講師 手話サークル内の子

○受講料 無料(但しテキスト代必要)

月曜コース ※実用コース

九月二十二日(月)～ 全一〇回

○時間 午前一〇時～正午

○場所 うちこ福祉館 保健衛生室

○定員 七名

金曜コース ※初心者コース

一〇月一〇日(金)～ 全一〇回

○時間 午後七時三〇分～九時

○場所 うちこ福祉館 会議室

○定員 十七名

○お問合せ うちこ福祉館まで

※定員になり次第、募集を締め切ります。



第十七回福祉館まつり

十一月八日(土) 午前一〇時～

バザー、スタンプラリー、児童生徒の人権標語・ポスターの展示、フィナーレには餅撒きも行います。



Go! Go! 福祉館
～つなぐ、広がる、笑顔の輪～

○福祉館まつり人権講演会

十月三十一日(金) 午後七時～

「いのちをいただく(仮題)」

講師(はなし人)：坂本義喜さん

(元熊本市食肉解体作業員)

うちこ福祉館は、前身の福祉会館を含め、創設されて 55 年目を今年迎えます。

大会テーマを「Go! Go! (55) 福祉館～つなぐ、広がる、笑顔の輪～」としました。



定期利用サークル紹介②

福祉館を利用するサークルの紹介です。

水心流弘道館剣詩舞

剣舞・詩舞は、吟詠の調べに合わせて、詩歌のこころを、体技をもつて表現する芸道です。是非、見学にお越しくください。

○開催日(稽古日)

毎週火・金曜 午後五時三〇分～九時

毎週土曜 午後三時～六時

○代表者 宮岡霊櫻

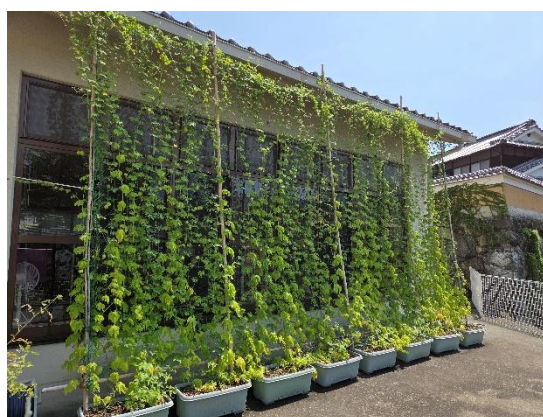
※一〇月四日(土)に、内子町共生館で開催される「こども文化体験教室」でも体験できます。

《午前九時～午後三時まで》



剣の振り方、足の運び方、緊張感が漂います。

緑のカーテン立派に成長
そして実もたわわ



機能回復訓練室を見事に覆ったゴーヤ

機能回復訓練室前のゴーヤが成長し、立派なグリーンカーテンとなりました。例年になく猛暑で、発育が心配されましたが、ゴーヤの実もたわわになり、エコオフィス推進に一役買うことができました。



収穫されたゴーヤの実は利用者の方に配られ、美味しく調理されたと聞きました。